

平成25年度 事業計画

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から2年が経ちました。

この震災では多くの尊い命が犠牲となり、そして今もなお、約31万5千人もの人々が住み慣れた故郷を はなれ、全国各地で長期にわたる避難生活を強いられています。このような現実を目の当たりにし、私た ちは、それまで当たり前と思われた「ふつうの暮らし」が、どれだけかけがえのないものであるか、家族 の絆、地域の絆の大切さを思い知らされました。

2年という時間の経過とともに、今後、大震災の記憶を風化させることなく、被災地への息の長い復興支援と大震災の教訓を活かした地域づくりへの弛まぬ努力を続けることが重要であり、このような時にこそ、地域福祉推進の中核的役割を担う社会福祉協議会の必要性が高まるものと思います。

本年度は、本会は現行の地域福祉活動計画の最終実行年度にあたり、現在の区社協事業の見直しと地域 課題や福祉施策の動向に応じた「第3期川崎区地域福祉活動計画」の策定に着手いたします。住民主体の支 えあい・助けあいを基調とした、災害時も視野に入れた川崎区における地域福祉活動の発展強化をめざし ます。

本年度も、「つながりを育て、暮らしの安心を支えあう地域づくり」を目指し、次の重点項目を中心に 事業を推進します。

法人運営事業

企画広報事業

助成事業

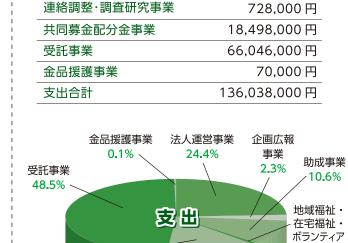
共同募金

配分金

事業

13.6%

会費	10,312,000円
寄附金	2,000,000円
補助金	3,277,000円
助成金	7,305,000円
委託費	67,596,000円
事業収入	155,000円
共同募金配分金	18,498,000円
その他(繰越金・預金利息等)	26,895,000円
収入合計	136,038,000円



地域福祉・在宅福祉・ボランティア活動振興・

33,164,000円

14,435,000 円

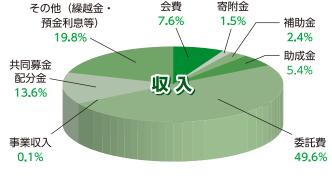
活動振興・

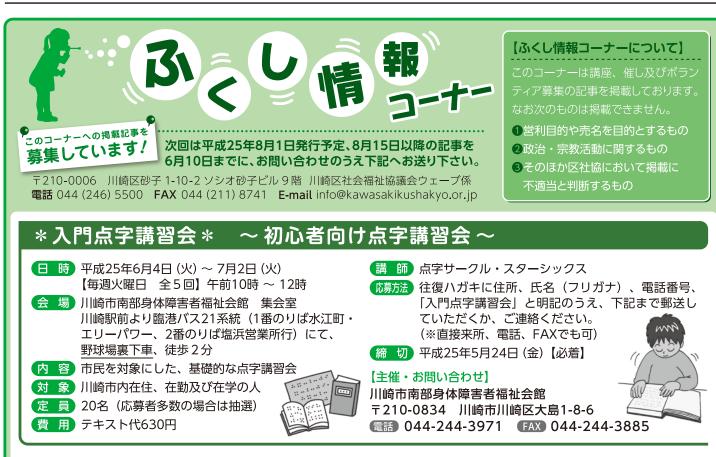
連絡調整・

調査研究事業

0.5%

3,097,000円





地域活動レポート(講座を開催しました!)

「視力障害とは?~一緒にアクリルたわしをつくろう~」

3月7日(木)午後2時よりJAセレサ川崎みなみ支店大会議室において「視力障害と は?」をテーマにNPO法人川崎市視力障害者福祉協会の御協力により障害者支援講座 を開催しました。当日は第1部として当事者の立場から日頃の生活状況について講演を、 第2部として「手芸体験としてアクリルたわしづくり」を当事者、参加者一緒になって行いま した。第1部の講演において「街中で立ち止まっている当事者の方は、困っている場合が多 く、援助の仕方として、最初に身体に触れるとびっくりするので、まず「何かできることは ありますか?」と声掛けをしてあげてください」ということが、大変印象に残りました。



「冷蔵庫にあるもので手軽に一品」男性料理教室を開催しました

3月12日(火)小田地区社会福祉協議会と共催により小田いこ いの家にて「冷蔵庫にあるもので手軽に一品」をテーマに男性料 理教室を開催しました。当日の献立は卵の巾着煮、魚のホイル焼 き等、レパートリーに富んだ内容で、その出来栄えは見事「大変 美味!」。ひとえに「小田地区社協婦人部」のご指導のおかげと 言いながら締めくくりました。そして、最後に「これで、家に 帰って家族に料理をつくってあげられる」という声が聞こえてき た、とても有意義な男性料理教室でした。

今年も「地域福祉活動助成事業」を実施します!

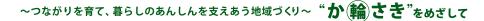
川崎区社会福祉協議会では、平成25年度も、川崎区内において自主活動をしている障害者児、子 育て等の当事者やその支援グループ・団体、社会福祉領域を対象としたボランティアグループへの 事業費等の助成を行います。

この助成金は、皆様からいただいた共同募金(平成24年度の年末たすけあい募金)を財源として 実施されます。

申請方法)所定の申請用紙に記入し必要書類を添付し申請 申請期限 平成25年5月31日(金)必着









この広報紙は一部共同募金の配分金によって作成されています。

(4)